

わの優秀会員5人・2グループ表彰



表彰式に臨む（左から）横山・梅谷・釜田・藤井・空閑・谷口・木原の各氏（撮影・松岡泰彦）

▼谷口博 初回の受賞に浴し、ただ感謝のほかありません。自分の好きな山野の植物を相手に楽しみながら実行してきた事柄を認めてもらったことがうれしいです。“山が喜び、木・花・草に虫・鳥なども楽しく、そこを利用する人々もまた喜ぶ”という事実に意義があると思います。ありがとうございました。

須磨海岸の清掃活動など

長年にわたってボランティア活動を続け、グループわの優秀会員に選ばれた会員5人と2団体の表彰式が5月20日の定期総会で行われました。加藤勇治理事長から表彰状と記念品が手渡され、それぞれの活動内容がスライドで紹介されると、会場からは業績をたたえる激励の拍手が湧き起こりました。今回の表彰式は、表彰制度が発足して初めてとなるもので、受賞者は個人10人・団体4件の候補から投票で選ばれ、4月6日の理事会で最終決定しました。（選考経過の詳細は50号に）

22年度の受賞者

- ▽木原愛子さん（福祉1）＝折り紙、折り染めなど伝統文化を伝える慰問活動。
- ▽谷口博さん（生環4）＝しあわせの村内での里山の再生、保全活動の実践。
- ▽空閑義郎さん（福祉3）＝マジックを通じたボランティア活動。
- ▽藤井潤子さん（音文5）＝区会を足場にした地域ボランティア活動。
- ▽釜田弘さん（国際3）＝コーロKSCの仲間と介護施設で歌や合唱の慰問活動。
- ▽須磨海岸清掃グループ（梅谷正芳さん）＝海水浴シーズンを中心に海岸のゴミ拾いを実践。
- ▽有馬観光ガイドボランティアグループ（横山忠明さん）＝観光客相手に名所案内や町歩きガイド。

受賞を励みに活動します

▼木原愛子 60歳以降の人生の過ごし方を学ぶ為シルバーカレッジ1期生に入学し「再び学んで他のために」の精神をうけいれ、ボランティアを生活の一部として、趣味活動とクロスさせながら、気がつけば十数年が経過しておりました。共に活動しました仲間の皆様、推薦くださいました灘区会長、区会員の皆様にお礼もうしあげます。

▼空閑義郎 カレッジ2年の時、しあわせの村の趣味講座で初めてマジックの手ほどきをしました。参加者が楽しそうにマジックに挑戦する姿を見て、自分の趣味を生かして社会奉仕をしようと決意しました。それが今や70名の大きな〈わ〉に広がり、共にボランティア活動に励み、社会貢献ができてるのが感無量です。

▼藤井潤子 本日は記念すべき第1回優秀会員表彰式で賞を頂戴し誠に有難く感謝申し上げます。区会・本部運営委員会の皆様の推薦を受け、身に余る光栄です。区会では最も大切にしていたのが「会員間の和」です。訪問先の方とも仲良く、楽しくボランティア活動が出来ました。これからも永く継続していきたいと思っております。

▼釜田 弘 今回は予期せぬ表彰を受け、光栄に思います。合唱団としてのボランティアを手探りで始め、11年余り続けられたのは団員の協力によるもので、個人名での受賞には戸惑いもありますが…。ボランティアでは常に相手の目線で接するよう心がけ、一体感を持って歌える事で、自身も活力を受けています。

▼梅谷正義 細野会長も推薦書に述べられたとおり、安全管理のみならず総局東監視員詰所は活動終了後の休憩場所として提供頂き、シーパル須磨は集合場所で許容頂いています。そして総会では第1回の優秀グループとして表彰の栄に浴し、感謝感激に胸が高鳴った次第です。改めて厚くお礼申し上げます。

▼横山忠明 阪神淡路大震災で損壊した有馬温泉の極楽寺庫裏跡から太閤秀吉の湯殿跡を発掘、そこに建設した「太閤の湯殿館」でボランティア活動を始めました。その後、観光案内所前でのガイド、まち歩きガイドと進展し、有馬温泉復興の一助として活動してきました。予期せぬ今回の受賞を励みに、より一層有馬の発展に寄与したいと思います。